

私らしく あなたらしく



「男の手料理講座」(キングサーモンを焼く講師と参加者)南流山センター

平成18年度男女共同参画標語

金賞 ^{まち}市づくり、^{みんな}つなぐ手平等、男女の手

銀賞 お互いの立場を思いやる男女平等

銅賞 我が家では 料理・子育て 主夫・主婦で

大沢 信弘

(鯖ヶ崎)

佐藤 恵子

(加1丁目)

岡島 弘子

(市野谷)

〈特集 訪問レポート〉

男性も家事参画・男の手料理講座(2~3面)

女性も社会参画・女性のための再就職準備セミナー(3面)

DV(ドメスティック・バイオレンス)~相談窓口の現場から~(4面)

男の手料理講座

男女共同参画社会づくりの一環として「男の手料理講座」が、南流山市センターで12月2日に開催され、市民の男性20人が参加している会場を訪れました。（編集委員 金井、多々良）

この講座は、男性の家事への参画を促すため、料理の楽しさを知ってもらおうということから開催されました。都内の有名ホテルでシェフをされていた立石先生を講師に、本格的なレストランのレシピを学びました。



メニューは、サーモンのムニエルポロネーズ風とビーフストロガノフ。まずは先生のお話を聞いてから調理に取り掛かりました。包丁を使うのが初めての人も手馴れた人も一生懸命料理に取り組む姿に感動しつつ、料理が出来上がり試食をしている皆さんに感想を聞いてみました。

30歳代Aさん

Q 日頃から家庭でお料理などしているのですか？

Aさん はい、作っています。

Q お料理の他にも家事をしていますか？お子さんの世話とかもしていますか？

Aさん 育児もしてますし、掃除や買い物もほとんど毎日してます。

Q 今日の講座はいかがでしたか？

Aさん こうした料理はなかなか教えていただくことがないため、大変勉強になりました。



60歳代Bさん

Q 料理は家でも作っていますか？

Bさん 肉じゃがは簡単です。カレーは大人用に辛く、孫には甘く作ってます。

Q 女性が働きに出たり、男性が家事をすることはどう思いますか？

Bさん いいことじゃないですか。息子夫婦は共働きなので男も当然家事をやらなくちゃなりませんね。

Q これからも料理教室に参加してみたいですか？

Bさん 今日はフランス料理でしたが、もっと勉強して家族にも食べさせたいですね。

また、同様の質問を他の参加者にも伺うと、日頃から家事をしている人や、男女の固定的な役割分担にとらわれない人が大多数いたことにうれしい驚きを感じました。お料理好きな人は平等意識が高い人かもしれません。最後の後片付けも参加者全員の顔が輝いて、やる気いっぱいのムードが漂っていました。

男性がこんなに喜んで料理に取り組むとは思っていませんでしたのでビックリしましたが、エプロン姿がよく似合うお父さんはとっても素敵でした。

女性のための再就職支援セミナー

昨年10月、江戸川台駅前庁舎で、男女共同参画講座「再就職準備セミナー」が開かれました。20代から50代の再就職希望者が参加し、2日間にわたる講座を受講しました。

1日目「自分にあった働き方を探そう！」

シニア産業カウンセラー栗原友女先生を講師に、再就職までのプロセスや適職の見つけ方等の講義がありました。

自分の長所や短所等自分自身を知ること、雇用状況や業種、職種、資格についての情報を集めて自分に合う働き方を選ぶこと等を学びました。



2日目「面接の極意」

産業カウンセラー木本比路美先生が講師となった2日目は、講師が受講者一人ずつに面接官として質問し、受け答えのときの注意点などを指摘、「受かる面接」を目指しました。

2日間にわたる充実したセミナーは、受講者全員の再就職の足がかりとなったようです。
(編集委員 小池)

個別相談

午後はカウンセラーによる個別相談が行われ、職歴の振り返り、家族環境・自分の見つめなおし、進みたい方向を明確に、という作業が進められました。

興味深かったのは、今置かれている環境から就労条件を考えるのではなく、5年後10年後に自分はどうなっていたいかをイメージして考えると職業選択の幅がぐんと広がり、目標に向けての計画もたてやすくなるということでした。

カウンセラーによって、今までもやもやと分散していた考えがすっきりと整理され、あっという間の60分でした。(編集委員 松尾)

DV (ドメステック・バイオレンス)

～相談窓口の現場から～

昨年11月、流山市ケアセンターで市民を対象としたDV(配偶者等の暴力)講座が開催され、千葉県女性サポートセンター所長の、松澤一美さんを講師に、DVの実態や支援情報の講演をしていただきました。(編集委員 高橋)

夫やパートナーからの暴力(DV)は、殴る蹴るなど身体的暴力だけではなく、行動を制限するなど精神的暴力、家計を厳しく管理する経済的暴力、性的暴力、子どもを巻き込んだ暴力等があり、暴力の次世代連鎖(幼児・児童虐待)にも繋がるとのお話がありました。

DV家庭への支援は、配偶者暴力相談支援センター等の行政機関だけでなく、私たち地域の仲間が連携して助け合うことが大切だと思いました。



配偶者からの暴力でお悩みの女性は下記の相談窓口へ

相談窓口(配偶者暴力相談支援センター)	
女性サポートセンター 043-245-1719 043-302-1015 24時間365日面接相談・専門相談(法律・健康)もありません。(要予約)	ちば県民共生センター 東葛飾センター 04-7140-8605 火9:30~20:00、水~日9:30~16:00 面接相談・カウンセリング・法律相談・こころの相談もあります。(要予約)
各健康福祉センター(DV専門相談) 電話相談 月~金 9:00~17:00	
松戸健康福祉センター 047-361-6651 柏健康福祉センター 04-7167-2411 野田健康福祉センター 04-7124-6677	

男女共同参画標語

(入選作品は表紙に掲載しています。)

男女共同参画社会の実現に向けて流山市では男女共同参画標語を公募により策定しました。

応募のあった作品は、講座や研修会の会場で展示され、市民の皆さんに紹介しております。



金賞受賞の大沢さん。

講座ご案内

男女共同参画社会づくり講座(情報紙づくりに向けて)

各種講座に参加して一緒に男女共同参画社会づくり情報紙を作ってみませんか。詳しくは、男女共同参画室までお問い合わせください。 04-7150-6064

編集後記

男女共同参画という言葉も、昨今少しは市民権を得たのでしょうか?

男性の家事参画、女性のエンパワーメントなど、社会はどんどん進んでいるようです。後退することなく、男女共同参画社会づくりを進めましょう。(井上)

編集委員

井上・小池・金井・高橋・多々良・松尾

この情報紙は「男女共同参画社会づくり講座」の受講生が企画・編集しました。ご意見、ご感想をお待ちしています。

発行：流山市企画部企画政策課男女共同参画室

〒270-0192 流山市平和台1-1-1

04-7150-6064 FAX 04-7150-0111

e-mail: danjokyoudou@city.nagareyama.chiba.jp

http://www.city.nagareyama.chiba.jp/

情報紙は町会、自治会のご協力で世帯に回覧していますが公民館をはじめ市の施設でも配布しています。